

YMCA News 1

2026年1月10日発行
認定 NPO 法人 盛岡 YMCA
〒020-0021
盛岡市中央通 3-19-22
Tel 019-658-8773
Fax 019-623-1579
www.moriokaymca.org
発行人/濱塚 有史
編集/本部事務局



本当の日本らしさを求めて

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。現在、世界では、偏狭な愛国心を振りかざす右派勢力が台頭し、自身の国家や民族を優先する政策を掲げては民衆の支持を得ようとしています。こうした現象は、日本国内においても同様で、「日本をこれ以上壊すな!」というキャッチコピーを掲げて大幅に議席を伸ばした政党も見られました。

そのような文脈の中で、しばしば外国人の処遇のあり方に話題が及び、入国管理や入国後の行動規制を強化すべきであるとの主張が勢いを増しているように思われます。確かに一部の外国人観光客によるマナー違反や外国人労働者の犯罪行為も報道されているとおりですが、殊更、それを一般化、誇大化して排外的なムードを煽り立てることには賛同できません。外国人に対する規制強化を主張する人々は、「美しい日本」の伝統文化、日本らしい所作や礼儀を守っていくべきことを声高に訴えます。しかし、そこで言う「日本らしさ」、「日本人らしさ」とは一体どのようなものでしょうか。

ひとつの手掛かりとして、日本語の歴史を振り返ってみることにしたいと思います。日本語の歴史には、大きな刺激と変動をもたらしたエポックが二つあります。ひとつは、古代における漢字の受

容、もうひとつは、明治維新期の欧米の思想概念の翻訳導入です。前者は、無文字社会で口頭伝承によっていた「やまとことば」を漢字・漢語と融合させ、訓読み、カタカナ、ひらがなの文化を生み出し、日本語独自の豊かな言語文化を創出しました。また、後者は、漢文中心の学問に西洋の哲学や科学思想を融合し、日本的人文学科、社会科学、自然科学の水準を爆発的に飛躍させ、深みと奥行きをもたらしました。よく言われるように日本人は、異質な他国との触れ合いを通じてその文化を柔軟に吸収し、これを適切に融合・一体化して世界に類を見ない豊かな言語文化を築いてきました。その独創的な知恵にこそ眞の日本らしさを見る能够のではないでしょうか。

すなわち、日本らしさとは、もともとすべてを日本人が無条件に持ち合わせていたというよりは、他国、他民族との豊かな交流を通じて自己の確立を図るプロセスを通じて形成してきたものと考えることができます。

YMCAは、国籍やジェンダー、年齢層を超えて、多様で異質な仲間との出会いを大切にし、すべての人々の個性や人権を重視しつ、自身の向上を図ることを目指しています。今年も皆様とこうした価値観を共有しつつ、力強い歩みを進めて参りたいと思います。

盛岡YMCA理事長 魚住 英昭

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS
2030年に向けた
世界を守るために
「持続可能な開発目標」です



盛岡 YMCA の使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なる文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2030年に向けて、盛岡YMCA中期5ヶ年計画が決定しました！！

盛岡YMCAは、2022年7月の世界YMCA大会で採択された「VISION2030」の4つの柱を中心に、2030年の実現に向けて具体的なアクションを行っていきます。



YMCA VISION 2030

2022年7月に開催された世界YMCA大会において、YMCAが1844年の創立以来目指してきたミッションを、現代社会における行動目標として「YMCA VISION2030」採択されました。これは、世界120の国・地域になるYMCAが同じ方向を向き、同じ目標を達成するために、世界のYMCAが連携する枠組みです。SDGsとも連動するこのビジョンは4つの柱で構成されています。2030年の達成に向けて各國・地域のYMCAは、このヴィジョンを仰ぎみながら、それぞれの地域課題に取り組んでいきます。



1 Community Wellbeing コミュニティーウエルビーイング

YMCAは、すべての人が、個人と集団のウエルビーイングを大切にしながら精神、知性、身体のバランスのとれた成長ができるることを目指しています。YMCAは、2030年までに世界中の若者とコミュニティーに向けて、高品質で持続可能なウエルビーイングへの方策を共創し、提供・提唱していきます。

2 Meaningful Work やりがいのある仕事と雇用環境の創造

YMCAは、すべての若者が学び、価値のある有意義な仕事に従事し、持続可能な生活を築く権利を持っていると信じています。YMCAは、経済状況が変化していく中でも、価値のある、公正な教育、トレーニング、雇用、起業の機会を創出し、提唱していくことを目指しています。

3 Sustainable Planet 持続可能な地球のために

YMCAは、私たち一人ひとりが地球の保護と再生のために行動し、人類が自然と調和して生きることのできる世界へ転換すべきであると考えます。YMCAは、気候変動に対する若者の積極的な発言と、彼らの主導による持続可能な解決策を推進し、より良い環境を目指す運動体となることを約束します。

4 Just World 公正な世界の実現のために

YMCAは、正義、平和、公正を求め、すべての人の人権を守ろうと努める若者やコミュニティーの力を信じます。YMCAは組織的な差別、不公平、不正などあらゆる種類の人種差別の闘いにおいてグローバルな発信者となり、すべての人の声が確実に届くように、活動する若者とコミュニティーの声を大きくしていきます。

リーダーがクリスマスボランティア 岩手県宮古市 田老第一小学校の子どもたちを訪問



あわてんぼうのサンタクロース♪クリスマス前にやってきた～♪
こんにちは、ガムです！12月11日（木）宮古市の田老第一小学校にて、サンタに扮した水野さん夫妻とトナカイに扮したピンリーダー、ガムリーダーの2人と2匹でサンタプログラムのボランティアに参加できました！

東日本大震災後15年間、毎年手編みの帽子やマフラーを田老第一小にプレゼントし続けている水野サンタと共に1年生11人のいる教室へと行きました。まず、プレゼントをもらうためにトナカイたちとゲームをしました。最初は○×クイズ！サンタの笑い方が「ホッホッホッホ」なことや好物がステーキであることを知ると、子どもたちとサンタとの緊張がほぐれていきました。次はワントッチゲーム！トナカイの尻尾にタッチしたり、「ランボルギーニ！」「Switch！」とクリスマスのプレゼントで欲しいものを唱えながらサンタ帽のポンポンにタッチしたりしました。最後はクリスマスじゃんけん列車！クリスマスソングを歌いながらじゃんけん列車をしていくと、仲の良い1年生クラスではあいこが続き最後は全員優勝！ゲームを終えると、サンタからそれぞれ異なる色・模様で装着しやすいように工夫の施された手編みのマフラーがプレゼントされました。サンタが帰るときにはマフラーを付けたまま手を振り続ける子どもたちの姿が印象的でした。

今回、サンタプログラムを水野さん夫妻と共に、プレゼントをもらった子どもたちの姿を見たり、水野さんのプログラムに対する思いや震災当時ボランティアとして宮古を訪れていた時の話を聞いたりして、人が人を思いやり、関心を持ち、自分も何かできないかと自分事として捉える力を大事にしたいと感じる機会に出会うことができました。この機会を無駄にしないよう、まずは残りわずかな活動に全力で取り組んでいきます！ありがとうございました！メリークリスマス！ 岩手大学4年 菅原 陸（ガムリーダー）

2030年に向けて盛岡YMCAの展望

今、世界が直面する問題は、貧困、気候変動、紛争など多岐にわたっています。そしてこれらの問題は国境を越えて影響を及ぼし、環境破壊、人権侵害、格差の拡大など、人間の生存に関わる深刻な脅威となっています。

私たちが生活する岩手もまた同様な変化のただ中にあります。日常的に生きづらさや、不安を覚える人々が増えている状況の中で、2030年に向けて、盛岡YMCAは、「 YMCA VISION 2030 」で示された4つの柱に沿ってアクションを行っていきます。そのためには、古くから日本のYMCAで言われてきた「ひとり一人を大切に」を合言葉に

- ① ボランティア活動を大切にし、ボランティア活動が盛んな盛岡の文化を育みます。
- ② 盛岡YMCAが提供するプログラムの内容の向上を図ります。
- ③ グローバルなYMCAのネットワークを活かし、地域の課題に取り組んでいきます。

そして、ゴールの2030年には、盛岡YMCAは「ボランティアと有給職員が共同でグローバルな視点に立ちながら、社会の課題に取り組む団体である」ことの一定の理解が市民に対して浸透できることを目指します。

スキーキャンプの在り方を学ぶ スキーディレクタートレーニングを開催



皆さん、こんにちは！シュリンプです。私からは、12月4日・5日に行われたスキーディレクタートレーニングについてご報告いたします。

今回のディレクタートレーニングは、夏油高原スキー場にて実施しました。翌週に行われるスキーリーダートレーニングへインストラクターとして参加するスタッフ3名と、リーダーOB・OG5名が参加しました。講師には、元東京YMCAスタッフの小林明彦さんをお招きしました。研修では「子どもへのスキー指導」をテーマに、子どもたちが安全に、そして楽しく滑ることができるスキーレッスンについて学びました。小林さんの指導のもと、スタッフとOBが実際に初心者の子どもになりきりながらレッスンを受け、進め方や楽しさを引き出す工夫を体感的につなげました。

2日間を通して、子どもたちが楽しみながら自然と技術を身につけていくスキーレッスンの在り方を、実践を交えて学ぶことができ、とても充実した研修となりました。

盛岡YMCAスタッフ 宮澤 秋彦（シュリンプリーダー）



「Vision2030」の特設サイトはこちらから ▼

<https://sites.google.com/japanymca.org/ymcavision2030/%E6%9C%89>



実際の子ども達のレッスンを体感

スキーリーダートレーニングを開催



皆さん、またまたこんにちは！シュリンプです。私からは、12月11日・12日に行われたスキーリーダートレーニングについて報告いたします。今回のリーダートレーニングには、インストラクターとしてスタッフ3名、リーダーOB・OG5名が参加し、リーダーは33名が参加しました。

1日目は、リーダーが初心者の子どもになりきってインストラクターからレッスンを受け、子どもたちが安全に、そして楽しく取り組めるスキーレッスンを体感的につなげました。2日目は、リーダー役と子ども役に分かれて実際にレッスンを進め、その後フィードバックを行いました。

2日間を通して、リーダーたちは「子どもたちが安全かつ楽しく滑るためのスキーレッスン」について理解を深めることができた様子でした。

盛岡YMCAスタッフ 宮澤 秋彦（シュリンプリーダー）

